

令和4年度 第2回理事会 議事録

- [1] 理事会の決議があったものとみなされた日 令和5年3月25日
- [2] 理事会の決議があったものとみなされた事項の提案者 代表理事 橋本健一
- [3] 理事総数 9名、監事総数 2名
- [4] 議案
 - (1) 令和5年度事業計画
 - (2) 令和5年度予算案
- [5] 審議経過及び審議結果

令和5年3月25日、代表理事橋本健一が理事及び監事の全員に対して、理事会の目的である議案について、上記内容の提案書を発し、当該提案について令和5年3月31日までに理事の全員から同意する旨の意思表示を、監事の全員から異議がない旨の意思表示を得たので、当該提案を承認可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

上記決議を明確にするため、本議事録を作成し、理事全員及び監事全員が次に記名押印する。

令和5年3月25日

一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会 理事会

代表理事 橋 本 健 一 (印)

理事 藪 田 憲 正 (印)

理事 寺 澤 忠 興 (印)

理事 安 藤 直 樹 (印)

理事 岡 野 美 幸 (印)

理事 小 山 春 美 (印)

理事 奥 村 直 生 (印)

理事 丸 山 忠一郎 (印)

理事 下 島 正 幹 (印)

監事 宮 山 尚 之 (印)

監事 中 越 一 統 (印)

第1号議案 令和5年度事業計画

1. 館山寮再建の概要について

・実施状況

- 1) 男子棟の再建、女子棟の解体・再建、浄化槽更新を実施した。
- 2) 基本設計、実施設計および工事監理はニジアーキテクト一級建築士事務所（目黒区）、施工は（株）加藤建設（南房総市）が行った。
- 3) 2022年1月に着工、同年6月末に完成し、7月6日引渡しを受けた。
- 4) 工事費総額は予算通り11,203万円の内輪で収まった。
- 5) 資金手当ては保険金、館山寮再建支援募金で賄い、不足分は朝陽同窓会からの資金援助は受けずに手持ち資金を充当した。

新築棟の様子

男子棟

女子棟



・今後の計画

1) 館山寮将来構想検討委員会の設置

- ・現在の館山寮の運営に対する改善案の提案
- ・館山寮の新たな利用方法の提案

財団理事及び評議員、新宿高校教員、PTA 役員、朝陽同窓会役員、朝陽水泳会から委員を10名選任し、3月26日にキックオフミーティングを行う。

2) 全室にエアコンを設置するー固定資産の取得

手持ち資金を充当して実施するが、不足分については朝陽同窓会の100周年募金からの補充をお願いする。

3) 収益の改善

一般宿泊の拡大など、宿泊者の増加策を検討する
館山寮修繕積立金のような基金の設立を検討する

2. 臨海教室および一般開放の実施

- ・令和4年度は1泊2日で1クラスごと8期実施された。令和5年度は新型コロナの影響が完全に払拭されていないが、令和元年まで実施されていた2泊3日の日程で2クラスごと4期12日間行うことへ対応することとした。

また、台風被害及び経年劣化により必要な備品の購入に対しては、可能な範囲で購入援助を実施する。

- ・食事提供は、厨房機器のメンテナンスに多大な費用が掛かることと、調理人の確保に目途が立たないことから、前年に続き弁当提供により対応する。
- ・同窓生に対する館山寮の開放
臨海教室終了後2～3週間程度同窓生に開放する。

3. 従来からの継続案件は引き続き支援または検討していく。

- ・朝陽バラ会への支援
- ・旧水上寮の跡地の活用問題

以上

第 2 号議案 令和 5 年度予算(案)

1. 経常収益

- ・賛助会員受取会費は納付率を前年と同程度とした（新一年生からの賛助金）
（4 年度 76%、3 年度 78%、2 年度 84%、元年度 83%、30 年度 83%、29 年度 85%）
- ・臨海教室は 2 泊 3 日で行うことで寮使用料を見積った（4 年度は 1 泊 2 日）
- ・寄付金の館山寮再建募金は 4 年度で終了するため

単位：万円

主な項目	5 年度予算	4 年度実績見込	増減
賛助会員受取会費	375	364	11
寮使用料収入等	710	399	311
寄付金（再建募金）	10	364	－354
計	1,095	1,127	－32

3. 経常費用

- ・減価償却費は新築建物が 4 年 7 月稼働のため、3 ヶ月差
- ・委託費は 2 泊 3 日臨海教室実施による給食費用、関連費用の増加
- ・消耗什器備品（空調、ポンプなどの機器類）、修繕料の減少は再建時の初期投資として昨年度充当されたことに基づく

単位：万円

主な項目	5 年度予算	4 年度実績見込	増減
減価償却費	1,049	882	167
委託費	500	279	221
光熱水・燃料費	138	97	41
消耗什器備品	52	99	－47
消耗品費	48	44	4
修繕料	23	97	－74
賃借料	84	70	14
保険料	52	50	2
助成金、負担金	20	29	－9
管理人費用	50	50	0
登記料、印紙代	4	24	－20
その他	94 *	62	32
計	2,114	1,783	331

* 内予備費 30 万円

4. 経常収支増減額（経常収益－経常費用）

- ・令和5年度経常収支は－1,019万円、減価償却費を除いた現金収支は30万円の黒字を確保

単位：万円

	5年度予算	4年度実績見込	増減
当期経常収支	－1,019	－656	－363
(現金収支)*	(30)	(226)	(－196)

*現金収支とは、経常収支に減価償却費を加えた金額で、手元に残る現金のこと

4年度は、再建募金364万円の収入があるので、実質現金収支は138万円の赤字

以上